



清掃リサイクル事業で国際協力

事前のお知らせ

～ミャンマー・ヤンゴン市の研修生が練馬の清掃技術を学びます～

| | |
|-------|--|
| 日時・場所 | 9月7日(水)...石神井清掃事務所(上石神井3-34-25) 資源循環センター(谷原1-2-20) 9月8日(木)...谷原清掃事業所(谷原5-5-11) |
|-------|--|

9月7日(水)、8日(木)の2日間、ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市の職員7名が、研修生として区の清掃リサイクル事業を学ぶ。これは、東京都が実施する「ヤンゴン廃棄物処理改善共同検討プロジェクト(JICA 草の根技術協力事業)」の一環で、平成25年度から毎年行っている。

初日の7日は、石神井清掃事務所などで資源・ごみ収集作業の様子を視察し、安全作業への取り組み事例を学ぶ。2日目は、ヤンゴン市の職員向け研修内容を区と共同で検討する。

なお、今年11月には、練馬区職員をヤンゴン市に派遣する予定となっており、都と協力してヤンゴン市の廃棄物処理の改善に向けた取り組みに協力する。



前回の視察受け入れの様子

【交流の経緯】

東京都は、平成25年度から「ヤンゴン廃棄物処理改善共同検討プロジェクト(JICA 草の根技術協力事業)」を実施している。区は都の依頼を受け、清掃リサイクル事業に関する視察や講義等を担当。毎年、研修生を受け入れるとともに、ヤンゴン市に職員を派遣(1週間程度)している。

これまでの主な取り組みとしては、住民向け普及啓発ツールの作成、ヤンゴン市民への啓発セミナー実施に向けた共同検討などがある。

【区での研修内容・スケジュール(予定)】

収集・運搬 住民向け啓発ツール 安全作業に関する研修事例など

研修生は、安全作業に関する区の取り組みを参考にしながら、ヤンゴン市で実施する職員向け研修の方法について検討する。

9月7日(水)[午前] 家庭ごみの分別、排出状況の見学、収集作業の見学、
大規模建築物の資源・廃棄物保管庫の視察 等

[午後] 区立小学校の4年生を対象に実施している「環境学習」のデモンストレーション

9月8日(木)[午前] 区で実施している安全作業の取り組み事例(講義) 研修紹介(実演)
谷原清掃事業所の見学、ヤンゴン市での職員研修実施に向けた共同検討

【ヤンゴン市の廃棄物処理の現状】

収集したごみは中間処理(焼却・破砕など)をせずに最終処分場で埋め立て処分されている。また、計画的・体系的な廃棄物処理が行われているとは言い難いのが現状である。最終処分場では浸出水処理、覆土等も行われておらず、ごみの適正処理やリサイクルのシステムづくりが課題となっている。

【区の国際交流実績(清掃リサイクル事業)】

区は、廃食用油のバイオディーゼル燃料等への資源化、小型家電回収・有用金属の再資源化事業など、23区の中でも先進的な取り組みをしていることから、これまでにバンコク環境局職員やロシア政府職員などが視察に訪れている。

【問い合わせ】 練馬区 清掃リサイクル課 清掃事業係 電話 03-5984-1059